

社会教育実習と社会教育演習

社会教育主事課程には、必修科目の社会教育実習、選択必修科目の社会教育演習があります。実習で体験したことを演習でふり返りながら、学びを深めます。

社会教育実習は、地域や施設などで、学習事業の企画や学習活動の支援に関する実習を行うものです。実習と演習を通して企画力、実践力、コミュニケーション力を身につけていきます。

◎実習の場は、社会教育施設(公民館、子ども・若者施設、女性施設など)、市民団体・NPO(青少年教育、環境保全など)などから選択します。

◎実習の場としては、自分の生活形態や通学状況に合わせて、都合のよい施設・機関を選びます。

※社会教育実習と社会教育演習は、2019年度までの社会教育インターンシップに相当します。



PTA会員を対象に広報研修会を開く
(教育委員会主催)

社会教育士とは

社会教育主事とは教育委員会に配属される専門的教育職員ですが、2020年度以降に入学した学生がこの資格を取得すると「社会教育士」という称号も同時に付与されます。「社会教育士」は、業種や職種によらず、履歴書や名刺に記載することができます。

2019年度以前の入学者も、特定の科目を履修することで「社会教育士」を取得できます。詳細は、「資格課程履修の手引き」を参照してください。あるいは、資格教育課程委員会専門委員(社会教育主事担当)の荻野亮吾(教育学科准教授、下記メールアドレス)まで問合せてください。



日本女子大学

社会教育主事課程

担当: 人間社会学部 教育学科
荻野亮吾(准教授)

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
電話 03(5981)7500(教育学科中央研究室)
Email: shakaikyoiiku@fc.jwu.ac.jp(荻野亮吾)



(2023.3)

企画力, 実践力,
コミュニケーション力が身につく

社会教育主事課程 (社会教育士)



学校と連携して「総合的な学習の時間」を実施する
(写真提供: 麻生多摩美の森の会)



日本女子大学

人間社会学部・国際文化学部

2023年度版

社会教育主事とは

社会教育主事とは、都道府県や市町村の教育委員会で仕事をする専門的教育職員です。青少年教育やまちづくりに関する教育の計画づくり、学習・スポーツ・レクリエーションの活動を行う人たちへの助言や指導、学校と地域との連携の促進など、さまざまな場面で活躍します。

学習社会や知識基盤社会といわれ、地方創生、コミュニティづくり、地域学校協働活動が重要となっている現代において、とても大切な役割を担う職種です。

社会教育主事課程を履修すると、「社会教育士」という称号も取得できます(ただし、4年生は一定の条件が必要)。



子育て支援のアドバイザーとして働く
(写真提供: NPO法人ぐらす・かわさき)

資格を取るメリットは

☆仕事に役立つ!

社会教育主事課程を履修すると、社会教育主事の資格が得られる他、「社会教育士」という称号が得られ、次のような仕事にも役立ちます。

- 学校の教員として、地域や家庭と連携した教育活動に取り組む
- 公務員として、まちづくりの仕事をする
- 企業で教育関係のビジネスに取り組む
- NPOや社会的企業で働く

※「社会教育士」の詳細はこのリーフレットの裏表紙を参照。

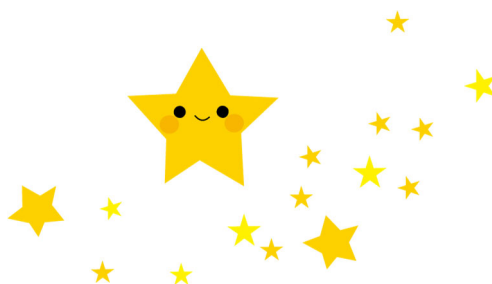
※2019年度以前の入学者が「社会教育士」を取得するには一定の条件が必要。

☆就活にも役立つ!

授業では、参加型・体験型の学習を行うので、企画力、実践力、コミュニケーション力が身につきます(生涯学習支援法Ⅰ・Ⅱ、社会教育経営Ⅰ・Ⅱ、社会教育課題研究、社会教育実習、社会教育演習)。

☆あなたの人生を豊かにする!

自分自身の生涯学習や子育てなど、生涯にわたって人生を上げていく基礎的な素養が身につきます。



卒業生からのメッセージ

●榊 佑奈さん

(東京都国分寺市公民館課勤務)

学びは座学に限らず、また年齢や性別も問わず一生続くものであると、社会教育主事課程や自身の地域活動の経験を通して知り、多世代が学び合える場に携わりたいと思いました。

現在は公民館で、住民の自主的な活動が円滑にできるよう支援したり、講座や公民館まつりなどの事業企画に携わったりしています。地域の方々のニーズを探り、それらにあった支援や企画をすることは難しくもありますが、とても楽しくやりがいのある仕事です。

●野村 千裕さん

(横浜市公立小学校教諭)

社会教育主事課程の授業や体験では、学校と地域の連携の大切さや学びは生涯にわたって続いていくこと等、多くのことを学びました。

現在、小学校教員として働いている中で、学校は保護者の方やPTAの方、地域の方、施設の方等、多くの方々のおかげで成り立つことを実感し、まさに学んだことが役に立っていると感じています。引き続き、教員という立場から子どもたちに学ぶことの楽しさや人と協力することの大切さを教えていきたいと思っています。

●戸川 みなみさん

((株)古島勤務)

私は専門商社の営業事務として働いています。納期の管理や価格交渉等、計画性や主体性、コミュニケーション力を問われる場面が多く、何気なく履修した社会教育主事課程での経験が大きく生きています。

とくに社会教育実習では地域の方々との出会いにより視野が広がり、自ら考え発信することの楽しさや難しさを痛感しました。これらの経験は社会を知る好機となり、社会人になった今にも通ずるかけがえのない財産になったと感じています。